

研究会記録

発言者	発言内容
授業者	<p>子どもたちはスイミーのお話がとても好きで、第一次では子どもたちと問いを分類しながら考えていった。子どもたちは問いをそれぞれにもって学習に向かっている。普段の授業の中では「聞くこと」が苦手な子どももいて、言葉の意味が十分に理解できていない子どももいる。『ふきのとう』の学習では言葉が押さえられてなかったので、今回は言葉を大切にひとつ一つを押さえていった。</p> <p>日記を書くことも大好きで、これまでにかなり日記もたくさん書いてきた。そうしたこれまでの経験が今回のスイミーの日記にいかせられたらと思っている。本時では、意見を出し合うところで時間がきてしまい、日記を書くところまで進まなかった。次時に日記を書くときには、きっと子どもたちは本時で学んだ「にじ色のくらげ」や「うなぎ」など、スイミーを元気にしていった楽しい海の生き物たちのことをたくさん書くと思う。</p>
参観者	<p>中学年ではタブレットを活用して学習する機会を多く取ってきているが、今回の授業では具体物がたくさん準備されていて、それを実際に触ったり動かしてみたりして、子どもたちはその経験からの学びも多かったと思う。特に低学年の子どもたちには具体物に実際に触れることで学びが広がっていくことを教えていただいた。具体物や身体表現が子どもたちの思考に沿っていてとてもよかった。</p>
参観者	<p>本時の学習問題はどのような形で設定されたのか、これまでの流れを教えてください。</p>
授業者	<p>子どもたちから出てきた学習問題だった。4月の『ふきのとう』の学習から学習問題を子どもたちと考え授業の中で取り上げて進めてきた。本学級の子どもたちは学習問題を考えるのを楽しんでできていて、スイミーでもたくさん挙がってきた。今日は本時の学習の軸となるものを学習問題として取り上げた。</p>
参観者	<p>授業が終わってから子どもたちから「日記を書きたい」という意見が出てきていた。これまでの学習を子どもたちが意欲的に楽しんでできていることが伝わってきた。</p>
授業者	<p>単元のはじめに学習問題を考えることが多いが、好きなところやスイミー日記に書きたいところを考えているうちに、子どもたちから問いが出てくることもあった。子どもたちの思考の途中で問いが出てくることもあると実感している。</p> <p>本時はどんどん登場してくる海の生き物たちの羅列になることも考えられ、それを避けたかった。1つのところで子どもたちのイメージが膨らむように具体物や板書で工夫してみた。</p>
参観者	<p>先日の6年生の授業でももっと続きを学習したいという声が子どもたちから挙がってきたが、本時でもそうだった。先生方が普段から授業を工夫して実践されていて、子どもたちにとって魅力あるものになっていることがよく分かる。本時の授業の中で常に学習問題に返り、問い返ししながら学習を進めていたため、子どもたちも意識することができ、筋が通っていた。2年生だが、「比喩」という言葉が授業の中で出てきていたので驚いた。これまでの学習でも出てきていたか教えていただきたい。</p>
授業者	<p>『たんぽぽのちえ』や『かんさつ名人』の学習で比喩が出てきたので、そこで取り上げてきた。子どもたちは比喩の表現を使った文を書くことにも慣れていて、学</p>

<p>参観者</p>	<p>習の中では日常的に「比喩」という言葉を使ってきた。</p> <p>具体物があったために、言葉と結びつけて考えられていた。日頃から子どもたちの言葉を一つ一つ取り上げて価値づけてきたことが、今回の授業につながったと思う。改めて教師は演じることも大切ということを感じた。テンポもとてもよくて、子どもたちが1時間授業に集中し学べていたと思う。</p>
<p>授業者</p>	<p>『ふきのとう』では、問いをすべて取り上げていったが、それでは授業の中で子どもたちが十分読み込めていないことがわかった。問いをすべて解決するだけに終わってしまい、子どもたちの学びとして浸透していなかったことが反省点である。</p>
<p>参観者</p>	<p>先生の授業にぐいぐい引き込まれた。言葉を大切にすることを実践されていた。言葉だけで子どもたちが想像することは難しいので、手がかりとして具体物をどのような形で出すか考えるところだ。多様性をもたせるために、今日は写真で提示されていて子どもたちの想像が膨らんでよかった。見えない糸で引っ張られているというところも、私が想像していたのと、先生がされたのとでは違いがあったので、人によって想像することは違うことを授業の中でいかしていきたい。</p>
<p>参観者</p>	<p>問いを追求する子どもたちを育てているということが伝わってくるような授業だと思った。今日は参観者全員がスイミーの世界に引き込まれていた。先生が子どもたちの言葉を一つ一つ取り上げていて素晴らしいと感じた。子どもたちは、もっと話したいということがあると思うので、ペア学習やグループでの学習を取り入れてみてもよかった。先生のスタイルで考えてみてほしい。</p>
<p>助言者</p>	<p>本学級の子どもたちは元気があり学びに対して大変意欲的だ。聞くことが苦手な子どももいると言っていたが、いろいろな発言を頼りに叙述に戻っていた子どももいた。子どもたちで聞き合いもできている。音読もとてもよい声で読めていてよかった。音読を習慣づけることや友達と息を合わせて読むことは大切である。学びに向かう姿勢が身についていてよかった。</p> <p>今日の授業は日記に書くための取材活動をしていたということになる。比べることが思考の始まりで、比べたり選んだりすることで意思決定し思考する。もちろん途中で意見や考えが変わってもよい。ネームカードを貼らせてもよいと思う。今回書いていく日記は評価しない。授業の中でどのように考えたかを評価したい。子どもは語彙も少ないので、本時であれば話し合いの活動のところで評価をする。1時間の中で発表できなかった子どももいるが、今日であれば、教科書の中に簡単な吹き出しを作っておいて書くようにしておくと、評価ができる。</p> <p>黒板に書く学習問題は子どもたちの1時間の思考に耐えうるものにするとうい。「すぐに解決できる問い」「調べるとわかる問い」「調べてもわからない問い」等に分類されるが、授業の中では叙述から想像できて解決できたらよい。解決できなくてもよいとする問いがあってもよい。子どもたちが自然と解決できるように、具体物や材料を整えていきたい。</p> <p>子どもたちはいろいろな読み物を読む経験を積んできていて、複数の読み物を読んでいる。いろいろな読み方を経験してほしい。今後、日常の中で言葉を大切に、見方・考え方を授業の中で耕していきたい。</p>

--	--